

広島サッカースタジアム竣工式 夢のスタジアムが完成

「まちなかスタジアム」として建設が進められてきた広島サッカースタジアムで、開業を翌日に控えた1月31日(水)、竣工式が開催されました。式典には広島県や県内市町、経済界等の関係者約240人が出席し、本所から森光会頭が出席しました。

スタジアムは、鳥の翼をイメージした大屋根が明るい未来へと羽ばたく思いを表現し、地上7階建て収容人員2万8520人、総事業費は285億7千万円。市民・経済界・サポーター等からの寄付金は77億円に上りました。J1サンフレッチェ広島の新本拠地「エディオンピースウイング広島」として2月1日(木)に運営を開始。試合がない日でも楽しめるミュージアムやグッズショップ、貸室などの多彩な魅力を楽しめる施設となっています。

出席した森光会頭は、「広島県に新たなシンボルが誕生した。隣接して整備中のパークエリアとの相乗効果によって賑わいの拠点となることを期待する。」と感想を述べました。



岡田市長と中心市街地活性化に向けた熱い意見交換

本所森光会頭が「みらいトーク」へ参加し、意見交換

岡田市長と関係者が市政やまちづくりに関して毎回テーマを設け意見交換を行う「みらいトーク」が、2月22日(木)に開催され、本所からは森光会頭が参加しました。(参加者8名)

今回のテーマは「中心市街地活性化」。(株)まちづくり三原や、ホテル旅館同業組合、飲食組合、イオン三原店なども参加され、各立場において日頃抱いておられる考えなどを熱く語られました。

連携して取り組むことの重要性を再確認

意見交換で多かったキーワードは、「関係者が連携して取り組み、大きな塊となってまちを盛り上げていくこと」でした。特に、イベントの開催や食の取り組みなどは単独で行うのでは規模も大きくしにくく、継続性も不安定な面もありますが、関係者(団体)等が協力し合い街に人が集まりお金が落ちる仕掛けをしていくことで、まちのPRや経済の好循環を創出していくことができると参加者の意見が合致しました。

具体的には、来街者を増やすことと滞在時間を延ばす

ことが重要であるという共通認識から、テイクアウト商品をゆっくり楽しめるスペースの確保であるとか、全国から人を呼び込めるコンテンツ(スポーツなど)を誘致することで宿泊や飲食・お土産といった消費が発生することも期待できるのではないかという提案もありました。

今まちに存在している人や特産品・内港といったインフラのポテンシャルをより活かしていくための連携を図っていくことを再確認できた会となりました。



今月の内容

【2面】議員交代のお知らせ

【3面】個別IT相談会開催

【4面】経営支援GOOD

【5面】まちづくり三原

【6面】Teamがん対策ひろしま

【7面】男女共同参画社会づくり表彰

【8面】第33回三原さつき祭り

2号議員 販売商業部会

～ 議員交代のお知らせ ～

この度、新たに議員に就任されましたのでご紹介させていただきます。



中国電力ネットワーク(株)
尾道ネットワークセンター

副所長 上田 敏晴

(株)フジフジグラン三原

店長 宇都宮 猛



広島県信用組合 三原支店を表彰

三原だるまの技術の伝承と広報活動に感謝状



本所では、三原市の伝統文化等の維持継承の活動に取り組む企業や団体へ感謝を伝えることを目的に、2月20日(火)、「三原だるまの技術の伝承と広報活動」に取り組む広島県信用組合三原支店に対し、活動をサポートする三原観光協会との連名により感謝状を贈呈しました。

作り手の高齢化が進む「三原だるま」ですが、同支店では移転オープン5周年イベントで店頭で三原だるまを飾ったことをきっかけに関心を持った若手職員が、日常業務のかたわら三原だるま保存育成会から作り方を学び、県内のイベントに積極的に参加したり、市内小学生を対象の出前講座を行うなどの活動に取り組まれています。

同支店の田邊支店長は、「三原だるまの活動を通して、市民の郷土愛を育み、それが地域経済の活性化につながる一助になっていけば嬉しい。一步ずつの活動ではあるが、これからも継続してこの活動を広めていきたい。」と喜びを語られました。

地域振興の継続的な活動を支援！

本所では、今後も地域振興に資する取り組みを行っている団体等を応援していきます。

三原商工会議所 // 2年連続ヴィクトワール広島のスポンサーに

地域の活性化と新たな経済創出をめざして

本所では、今年度引き続き来年度もプロロードレースチーム「ヴィクトワール広島」の年間スポンサーとなり、チームの支援をはじめ、地域での選手との交流の機会の創出やロードレースの認知度向上、大会開催サポートといった活動を行っていきます。

スポーツの感動をまち全体に

広島県はスポーツが盛んなまちであり、プロスポーツチームも多く存在します。その中で、本所がヴィクトワール広島を応援するポイントとしては、①三原市とチームが「自転車を活用したスポーツ振興に関する協定」と締結し、経済界としても一体となって支援していく。②中央森林公園に整備されているコースは、ロードレース界では有名で、かねてより本市とロードレースとの親和性が高かった。③スポーツという新たな切り口での経済浮揚をめざす。これらの観点から本所としても官民一体となって支援をしていくこととしています。

まち全体がスタジアムになるロードレース。スポーツが持つ熱狂や感動を三原のまちでも体感しましょう。

ヴィクトワール広島 所属リーグ変更

チームは今シーズンより、JCL(ジャパンサイクルリーグ)からJBCF(全日本実業団自転車競技連盟)に所属変更し、計21チーム在籍する中で、年間1位をめざします。皆さん応援をよろしくお願いいたします。



個別IT相談会開催 「効率化」って、どういうこと？

本所情報化委員会(伊達護委員長)では、2月1日(木)に、アピオの天羽一敏氏を講師に招き、個別IT相談会を開催しました。

相談会は、自社で抱えるIT関連の疑問や問題について、個別相談形式により1時間じっくりと質問や具体的なアドバイスを受けることができます。



「かもしれない」と講師の言葉がありました。

ITを使いこなすという事は、「使いこなす」こと自体が目的ではなく、あくまで「今の業務のどこを改善したら楽になるのか」という目的を達成するための手段として考えること。その課題をITで解決できるのなら、それが「効率化」につながるということでした。

ただし、ChatGPTや他のITを、使うのはあくまで人間。そのため、正確な事実と内容の確認をする必要があります。また、ITを導入する際は、まずは明確なビジョンを定め、目標を設け、取組むことが大切です。

次年度も個別IT相談会を実施予定ですので、興味のある事業所様は、是非ご参加をお待ちしております。

ChatGPT活用でLINE配信！簡単かつ迅速な文書作成

例えば、「PDFのチラシデータを、500字以内にしてLINE配信したい」と相談したら、講師から「ChatGPTにしてもらいましょう」とアドバイスがありました。

実際に、そのPDFのデータをコピーし、ChatGPTに貼り付けて指示をすると、ものの数十秒で配信文書を作ることができました。

ChatGPTは、「文の要約・校正」、「文面等を考える」「アイデアを出す」等、考えることが得意な反面、計算や感情の微妙なニュアンスには疎いところもあるので、使い手が上手く活用する慣れが必要です。

ITを使いこなすことは“目的”ではなく、“手段”=「効率化」

「これからは、“考える”という行為も外部化されていく

三原の魅力为全国にお届けするご協力事業者を募集

「通販で三原をPR隊」三原のPRチラシを同梱いただくだけでOK！

本所情報化委員会(伊達護委員長)では、通信販売をしている事業所と連携し、三原市の観光・グルメ情報などを載せたチラシを、商品を発送する際に同梱していただくことで、三原市を全国にPRする「通販で三原をPR隊」の事業を実施しています。この事業では、商品購入者にチラシが届き、記載されたキーワードで応募すると、抽選で賞品(三原の特産品)が当たる特典があり、これまで全国各地からご応募をいただいています。令和6年も多くの方に三原の魅力を発信し、三原のまちを盛り上げます。



同梱チラシイメージ(R5年度)

チラシを見て応募された方からの声(一部抜粋)

- ・自然豊かで美味しい食材豊富な三原に行ってみたいです！ (千葉県)
- ・次は三原市に行こうと思います。 (愛知県)
- ・広島県三原市の魅力がどんどん分かり、行きたくなりました!! 素晴らしいですね! (岐阜県)

チラシの同梱にご協力いただける事業所、また賞品の提供をいただける事業者を募集していますので、ぜひ本所情報化委員会までお気軽にお問い合わせください。

情報化委員会 ☎(0848)62-6155 <https://www.mhr-cci.or.jp/mihara-pr/>



情報化委員会の取り組みについて 委員長より一言

情報化委員会では、経営に役立つ情報の提供および本所事業の周知等を目的に、様々な取組を行っています。

今回実施した個別IT相談会では、会員事業所のITの悩みを専門家に相談し、今後の事業へと役立てていただくことを目的に実施いたしました。終了後のアンケートでは、また個別で相談会を実施してほしいとお声も頂き、より一層皆様のお役に立てる情報の発信等を行ってまいります。

また、「通販で三原をPR隊」の事業では、通販事業者と連携し、発送時に三原PRチラシを同梱していただき、三原の魅力を全国に発信。三原の認知度向上や、来訪者増加への貢献をめざしています。



情報化委員会
委員長
伊達護



長年愛される、皆様の憩いの場として

いろは

【代表者】池内 皓恵さん
 【住 所】三原市港町1-10-3
 【TEL】090-1689-2232

◆創業88年今の形へ

おかげ様で、創業88年目を迎えることができました。私は、平成元年から、3代目として現在の店を守っています。お好み焼きの提供をはじめたのは昭和50年からで、当初はラードを使っていましたが、今は、お客様に体に良いものを提供したいとの思いから、ココナツオイルを使っています。このオイルに含まれる成分は、体脂肪になりにくく、ダイエットにも効果的。べたつかずお酒を飲んだ後の締めにも最適なお好み焼きを提供しております。

夜中お越しになったお客様には、健康のためにそばやうどんのダブルは出さないようにしています。様々な種類のお酒を提供し、カラオケもあるので、ゆっくりお楽しみいただけます。



「お客様からは、ズに食べても胃もたれしないと評判が良いですよ。」と笑顔の池内さん

◆まちのうつり変わりについて感じること

最近では、県外からの観光のお客様が増えてきています。外国の方もたまにお越しいただきます。しまなみ海道や大久野島などに行く途中でお立ち寄りくださるようです。最近の人は行動範囲が広がっているので、従来の「三原に来る人はビジネス客」という枠にはまらない人も増えてきているのではないのでしょうか。

「いろは」は、夜の1時までやっているのですが、同業の方からの紹介で来ていただくことも、またご自分のお店が終わってから寄ってくださる方もいらっしゃいます。多くの人にご来店いただき、三原市が賑やかになって欲しいですね。

◆商工会議所とのかかわり

長年、この時期は、確定申告でお世話になっております。コロナ期は飲食店ということもあり、支援金の申請

昭和11年に創業した、お作事通りにある「お好み焼きスナックいろは」。大衆食堂から始まり、専門の茹で機を用いてラーメンやうどんの提供、焙煎コーヒーを三原で初めて提供したりと形を変えながら、昔から地元の方だけでなく、県外の方々にも憩いの場として愛されています。沢山の方に愛されるお店の極意と池内さんの想いについて、本所 尾田経営指導員が伺いました。

の際に書類の準備に際して相談に行くことが増えましたね。そういったことに疎いので、申請書を書くときにまず思い浮かぶのが、商工会議所です。

また、グルメマップに掲載頂いておりますが、お酒も提供するお店なので、ナイトマップにも掲載をお願いしたところでした。



話上手、聞き上手な池内さん。心地よい時間が流れます。

◆最後に

最近では、“ネットで調べてきました。”と仰っていただく方も多く、ネットに疎い私には“どんなことが書かれているの？”と思いますが、見てから来ていただけるという事は、良い印象を持っていただけたという事なのでしょうね。

おいしいものを提供することにこだわり続けていますので、知らない人にも気軽に立ち寄っていただける店として末永く続けていきたいです。

お好み焼きや鉄板焼きなどおいしいお料理を用意していますので、ぜひお気軽にご利用ください。いつでも、お待ちしております。



聞き手：本所 経営指導員 尾田 文治

まちづくり三原がAIカメラサービス「カモメ」をリリース

((((((((中心市街地に複数台設置し365日の通行量を把握))))))))



まちづくり三原では、中心市街地の活性化のため活動に取り組んでいますが、具体的な目標の1つとして、通行量の増加を目標に掲げています。これまで年間通行量の測定は、人手による16地点での計測と、限られた調査日数に基づく年間通行量の推定に頼っていました。

しかし、この方法では中心市街地で行われる事業やイベントの際、通行量にどのような影響があるのかを正確に測定することが難しいという問題がありました。

この度この問題を解決するため、同社では、365日の通行量を把握できるよう、16箇所にAIカメラを設置し運用を行うことにしました。これにより、より精度の高いデータを得ることが可能になります。

やっさ祭り・浮城まつり・神明市の際の通行量も収集

既に昨年度から、JR三原駅周辺に複数のAIカメラを設置し、通行量や属性データ(性別、年齢層など)を収集しています。昨年の「やっさ祭り」、「浮城まつり」、先月開催の「神明市」等でも情報を収集し、収集されたデータを実行委員会等へ提供を開始し、活用されています。

この度、このAIカメラのデータを一般にも利用していただけるよう、3月1日(金)より「カモメ」というサービス名で、段階的に提供を開始致します。

AIカメラサービス「カモメ」、ぜひご活用ください！

「カモメ」のサービス概要は次の通りです。通行量のデータを提供しますので、ご活用ください。

- 開始：令和6年3月1日(金)～
- 内容：通行量、性別等を1分単位で24時間記録
- 費用：1日1箇所あたり2,000円(税別)～
- 概要：JR三原駅周辺7箇所以上の計測データを提供

なお、提供するデータは、次のような利用方法がありますので、利用をご希望の方は、お気軽にまちづくり三原(TEL：0848-63-5538 担当：泉)までお問合せください！

- 利用事例
 1. イベント来場者カウント
イベント開催時の来場者数や属性を知りたい
 2. 調査事業
通行量や属性調査を低コストで正確に行いたい
 3. 実証実験の効果測定
中心市街地での実証実験やモニターテストの効果を測定したい
 4. マーケティング活用
新規出店やプロモーションの計画時に周辺の通行量を把握したい

協会けんぽ広島支部の
加入者・事業主の皆様へ

協会けんぽ広島支部の保険料率が変わります

健康保険料率

令和6年2月分(3月納付分)まで
給与・賞与の **9.92%**

令和6年3月分(4月納付分)から

9.95%

- ◆健康保険料率は地域の医療費水準に基づいて算出されているため、都道府県ごとに異なります。
- ◆広島支部の1人当たり医療費の伸びが全国平均の伸びを上回ったことが健康保険料率引上げの主な要因です。

介護保険料率

令和6年2月分(3月納付分)まで
給与・賞与の **1.82%**

令和6年3月分(4月納付分)から

1.60%

- ◆40歳から64歳までの方(介護保険第2号被保険者)には、健康保険料率に全国一律の介護保険料率が加わります。

※賞与については、支給日が3月1日分から変更後の保険料率が適用されます。

医療機関等を受診する際にマイナンバーカードを一度使ってみませんか？

安心

よりよい医療が受けられる！

便利

各種手続きも便利・簡単に！

ご利用方法

1. マイナンバーカードを取得
詳しくは「マイナンバーカード総合サイト」から



2. 保険証利用の申込み
○ スマホ(マイナポータル)
○ セブン銀行ATM
○ 医療機関の顔認証付きカードリーダーから申し込みます。

3. 医療機関で提示

《お問合せ先》 全国健康保険協会広島支部 ☎082-568-1011 (平日8:30~17:15)

「Teamがん対策ひろしま」ご存知ですか？

(株)鶴田電設コンサルタントが広島県知事賞を受賞

“Teamがん対策ひろしま”って？

「Teamがん対策ひろしま」は、社員と地域の皆様のいのちを守るため、広島県とともに主体的かつ積極的に総合的ながん対策に取り組む企業を登録する制度です。



登録企業は、「がん検診受診率の向上」、「治療と仕事の両立支援」、「がん患者団体・がん患者支援団体の県民向けイベント支援」の項目の目標を定め、取組を実施します。

今回、令和4年度の取組好事例として「広島県知事賞」を受賞された(株)鶴田電設コンサルタント 鶴田幸彦社長に、お話を伺いました。

—受賞おめでとうございます。この度は令和4年度の取組が特に優秀な成果をあげられたと伺いましたが、どのような活動をされたのか、教えてください。

ありがとうございます。

まず、がん検診について、勤務時間内の受診や費用の全額会社負担等により高い受診率を達成することができました。加えて、検診結果の確認、要精密検査の場合の受診勧奨及び結果確認、治療が必要な場合の声掛けなど受診後の対応を徹底しています。

また、患者団体等のイベント支援について、8回の支援のうち、3回は会場準備等のボランティアとして参加させていただきました。このような活動が、今回の表彰につながり、うれしく思っています。

「経営者」だからこそ、できることもある

—これからの「Teamがん対策ひろしま」の活動について、鶴田社長の想いをお聞かせください。

今や、2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで死亡すると言われています。つまり、誰もがなりうる病気だということですよ。この活動を通じて、もちろん早期発見、早期治療につながればいいですし、例えがんになったとしても、従業員の皆様が治療と仕事を両立し、その人らしく充実感を持って働き続けられるために、「経営者」として、できることをやっていきたいと思っています。

三原でこの取り組みに登録されているのは4社。今回の表彰をきっかけに、この取り組みを知っていただき、この取り組みが広がり、よりよい三原になればと思っています。



表敬訪問では、デーモン閣下が降臨！

会社概要

(株)鶴田電設コンサルタント
<https://tsuruta-dc.co.jp/>



「Teamがん対策ひろしま」について、詳しくはこちら

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/team-gantaisaku/>



3月定期相談会のご案内

本所では各種経営相談に応じています。秘密厳守、相談無料となっておりますので、お気軽にご利用ください。

相談内容	相談日	相談員
金融・税務・創業・経営に関する相談	毎日(土日祝除く) 8時半～17時	本所経営指導員
事業承継・M&A	19日(火) 13時～17時	広島県事業承継・引継ぎ支援センター
知的財産(特許・実用新案・意匠・商標)	28日(木) 13時～17時	(一社)広島県発明協会

ご相談・ご予約は 本所経営指導課(0848-62-6155)まで

三原市本町 3-15-7
TEL.64-8383

情報発信

日々の取り組みや経営に関する情報は、所報・ホームページ・ラジオ等を通じて発信しています。ぜひ、ご覧ください。



LINE



商工みはら



ホームページ

三原市男女共同参画社会づくり表彰の3事業者が決定しました

三原市では、誰もが働きやすく、個性と能力が発揮できる職場をめざして、豊かで活力ある男女共同参画社会の推進に積極的に取り組んでいる市民、市民団体、事業者等を平成25年度から表彰しています。

令和5年度は次の3事業者が決定し、令和6年2月5日(月)に表彰式を行いました。

今年も9月(予定)に三原市広報(広報みはら)、ホームページ等で募集を行いますので、事業者のみなさまからのご応募をお待ちしています。



左から、(株)三原美装社 様、岡田市長、(株)みどり商会様、(福)みどりの町様

広島県「働きがいのある会社」優秀企業

株式会社 三原美装社 代表取締役 藤原 聖士 様

取組内容

広島県働きがいのある会社認定企業27社のうち、優秀企業10社に三原市内で唯一認定されています。所属や性別を問わず集まったメンバーによる「働きがい向上委員会」で業務改善提案など社内意見を取り入れていることや勤続年数や実務経験の豊富な女性職員を新たに管理職ポストに任命し、各現場での指導・助言を生産性向上につなげていることなどの取組が評価されています。

社長が「イクボス同盟ひろしま」のメンバー

株式会社 みどり商会 代表取締役 作田 佳史 様

取組内容

有給休暇とは別に独自のワークライフバランス休暇(5日)を約10年前から導入し、仕事と家庭の両立支援をしています。収集部門に関する募集要項を見直すことで女性も応募しやすくし、女性採用の目標値を設定。ビジネスチャットツールを活用し、業務改善提案など社内意見を取り入れたり、勤務地が異なっても、各自が業務の進捗確認や情報共有することが可能になっています。

健康経営で従業員の活力向上・組織の活性化

社会福祉法人 みどりの町 理事長 塩崎 雅則 様

取組内容

職員からの要望を取り入れ独自の年次有給休暇制度「あなたの夢のお手伝いドリーム休暇」を導入しています。また令和5年度ひろしま企業健康宣言 健康づくり優良事業所にも認定されています。令和4年から本郷町でJA提供の大和町産ハトムギを使用したパンを製造販売し、農業と福祉の連携やお客様との交流で福祉施設と地域をつなぐ拠点として活動を展開しています。

問い合わせ：三原市人権推進課 電話 0848-67-6044

ようこそ三原へ！にっぽん丸が7年ぶりに寄港

歓迎セレモニーでお出迎え

大型クルーズ船「にっぽん丸」が、1月26日(金)糸崎港に寄港し、三原市や本所、三原観光協会による歓迎セレモニーを開催しました。

セレモニーでは、三原小学校6年生の鼓笛隊による演奏で乗船客を盛大にお出迎え。式典では、平野専務理事らから同船の福元ゼネラルマネージャーに「三原だるま」を記念品として贈呈しました。

7年ぶりの寄港となったクルーズは(株)静岡新聞社・静岡放送(株)の主催によるもので238名が乗船(定員449

名)。寄港の後は、周辺観光地等の散策に出かけられました。また寄港中は同港には、臨時観光案内所や地元2社が特産品販売所を開設、観光スポット紹介や自慢の特産品販売等により再び三原にお越しいただけるようPRしました。

こうしたクルーズ船の寄港の際には、三原を知り、より楽しんでいただけるよう取り組んでいきます。



『夢実現』の架け橋になりたい！

しまなみ信用金庫

<http://www.shimanami-shinkin.jp>

第33回三原さつき祭り

今年は5月25日(土)・26日(日)

今年33回となる三原さつき祭りは、宮浦公園・三原市芸術文化センターポポロ周辺において、2日間祭りを開催すべく、企画を進めております。今年度も新しくイベント出店に挑戦したい方を募集します。

商売繁盛でまちづくり「企業展」

あなたの会社・お店をもっと広く宣伝するチャンスです！ぜひこの機会にご利用ください。

- 出店場所 三原市芸術文化センターポポロ 周辺
- 出店資格 本所・三原臨空商工会会員事業所の方(出店審査あり)
- 出展料 10,000円/1社
- テント料 18,000円/1張(2×3間)設営・撤去費用込み
※原則として1社1テント、リース希望者のみ
- 申込方法 必要事項(会社名・住所・代表者名・電話番号・FAX番号・メールアドレス・担当者名・携帯番

号・出店内容)を明記の上、FAX・郵送・三原さつき祭り公式LINEよりお申込みください。

- 申込締切 **3月10日(日)【必着】**
- 説明会 イベント当日までに複数回開催します。必ずご出席ください。
- 注意事項 出店場所で火気を用いた飲食物の調理は出来ません。ご希望される方は下記の喰道楽へのご出店をご検討ください。

飲食ブース「喰道楽」

ポポロ南側道路で開催する「喰道楽」は、毎年三原市内の町内会やスポーツクラブの皆様の出店で賑わっています。

- 出店資格 三原市内で活動されている団体・町内会など
- 出店料 21,000円～26,000円、35,000円(エリアによる、出店場所は要相談、企業名での出店は一律35,000円)
- リース料 テント18,000円/1張(2×3間)、机1,200円/1本、椅子400円/1脚
- 設備 電気(1000W)・水道・排水
- 申込方法 詳細な要項をお送りしますので、実行委員会事務局までお問合せください
- 申込締切 **3月31日(日)【必着】**

- 説明会 商工会議所で開催します。開催日時は決定次第連絡します。
- 注意事項 喰道楽へ出店申込団体名以外の服装(ジャンパー、Tシャツなど)は着用できません。事業所名で出店を希望される場合、出店料が異なります。詳細は、事務局までお問合せください。



※どちらの出店も募集数に限りがあります。予定数を超える応募がある場合、**実行委員会にて抽選**を行いますので、予めご了承ください

お申し込み
お問い合わせ

三原さつき祭り実行委員会(三原商工会議所内)
〒723-8555 三原市皆実4-8-1 TEL:0848-62-6155 / FAX:0848-62-5900
公式LINE: @416aphze



「miho-la-meci」(ミホラー・メシ)が最優秀賞!

第9回レシピコンテストを開催

「臨空広域経済交流協議会」(会長:森光会頭 本所・三原臨空商工会で構成)と(株)道の駅みはら(社長:後藤副会頭)の共催により、三原の食材を活かした第9弾となるレシピコンテスト企画。2月14日(水)西国街道の駅ミホラで最終審査会を開催しました。



今回はミホラにある石窯を使ったレシピを募集したところ141点の応募があり、一次審査を通過した4品をレシピを元に再現。岡田市長、森光会頭、梅本商工会会長等が審査員を務め、味・三原感・独自性等の5つの基準で審査し、最優秀賞に谷恵理兼さんの作品「miho-la-meci」が選ばれました。

このメニューは、3月下旬より同店で提供される予定ですので是非ご賞味ください。

本所 新入職員 入所

本所では、3月1日付けで下記の1名を採用いたしました。

何卒よろしくお願いたします。



経営指導課
岡本 優人